

なか|べつ

# 農協だより



147  
号  
昭和62年3月

発行 中標津町農業協同組合  
編集 営 農 部  
印刷 (有) 板 野 印 刷



# 理事会の経過



## 第十一回理事会

開催月日 二月九日

開催場所 農協中会議室

### 〈議案〉

- 一、昭和61年12月末、クミカシン精算残の借入れについて。
- 二、昭和62年度クミカン資金供給限度額、及び供給資金認定審査について。
- 三、昭和61年度制度資金の追加申込みについて。

- 四、補助事業に伴う貸金の借入れについて。
- 五、昭和61年度生乳計画生産第三次配分について。
- 六、出資金の譲渡及び減口について。

○それぞれ原案どおり決まりました。

- 七、農機具等貸付金の貸付対象範囲について。

○貸付対象、組合員及び職員、但し准組合員については、正組合員が保証する者に限る。

利率、年、六・三％  
期間、六年以内

保証人、三百万円迄は一人  
(職員に対する貸出し限度は二百万円迄とする)

### 〈協議事項〉

- 一、酪農技術情報センターについて。
- 二、ホルスタインと和牛の交雑種の生産について。
- 三、馬鈴しよのアブラ虫対策について。
- 四、昭和61肥料年度、肥料代精算方法について。

### 〈報告事項〉

- 一、昭和61年度農協別生産計

## 第十二回理事会

開催月日 二月二十五日

開催場所 農協中会議室

### 〈議案〉

- 一、制度資金の借入申込みについて。
- 二、肉牛センター用地について。
- 三、61肥・系統肥料出荷奨励金の支出について。
- 四、昭和61年12月末、クミカシン精算残の借入れについて。

○それぞれ原案どおり決まりました。

### 〈協議事項〉

- 一、不良債権の処理について
- 二、昭和61年度1月末における収支の期末見込みについて。
- 三、昭和62年度第1次収支計画、並びに貸付金利率の引き下げの検討について。
- 四、組合員資格の審査について。
- 五、地区別懇談会の開催について。
- 3/4、俵橋
- 3/5、第一俵落
- 3/9、当幌
- 3/10、中標津
- 3/11、俵落、3/12、開陽
- 3/13、武佐
- 六、馬鈴しよ並びに馬鈴しよでん粉の適正生産について。
- 七、和牛交雑種の人工授精頭数の取りまとめについて。

### 〈報告事項〉

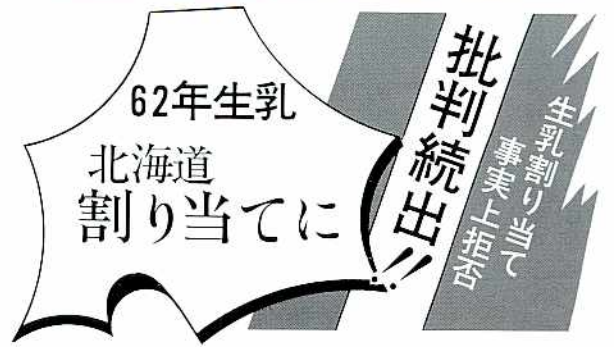
- 一、自治監査実施報告について。
- 二、車両リースによる更新について。
- 三、肉牛生産センター肥育舎の修理について。

## カウンターを明るく彩る

協和の林仁一郎さん夫妻が丹精をこめて育てている、サツキツツジが五鉢寄贈された。

昨年の6月にも寄贈され、来客者に観賞され、栽培管理に関心を持たれていたが、今回の出来映えも見事な花弁をつけ、農協事務所内を明るくしている。

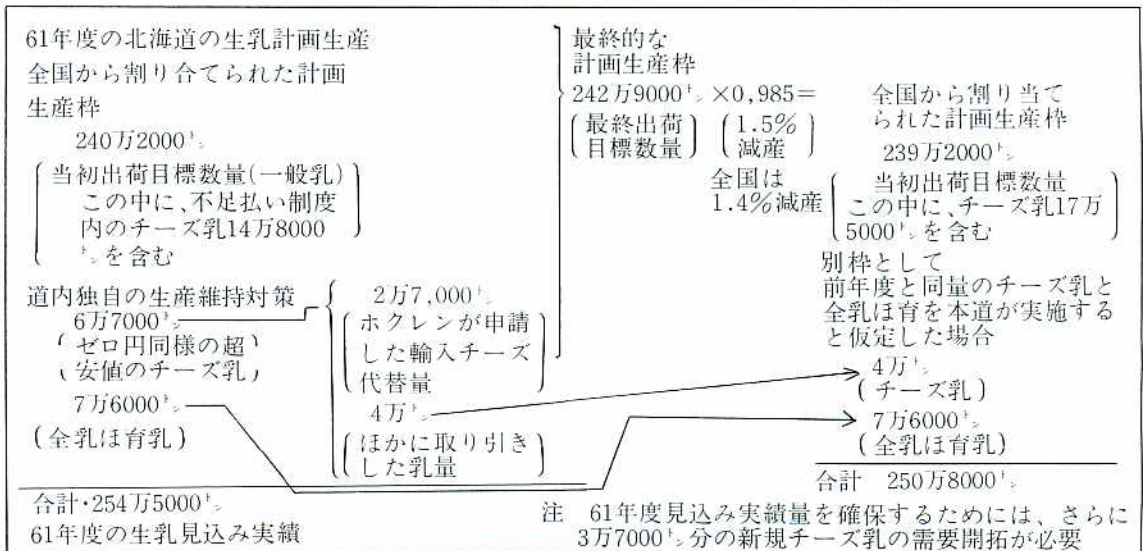




北海道に割り当てられた六十二年度の生産計画生産数量は、前年計画比一・五%減の二・三九万二〇〇〇<sup>ト</sup>に決定したが、これに対し北海道の生産者は、「乳価は安くてもチーズを作り需要拡大しようとしているのに今回の割当は昨年を大きく下回るものであり到底「承服できない」とし、事実上、割り当て拒否の態度を表明した。北海道の六十一年度のチーズ仕向量は通常販売分が一四万八〇〇〇<sup>ト</sup>、道

内独自の生産維持対策として六万七〇〇〇<sup>ト</sup>のチーズを増産したことになる。北海道の六十一年度生産割り当ては一般枠が二四〇万二〇〇〇<sup>ト</sup>のチーズ増産分が六万七〇〇〇<sup>ト</sup>の二四六万九〇〇〇<sup>ト</sup>（別に全乳哺育七万六〇〇〇<sup>ト</sup>）となっていた。それが今回フタをあけてみると、六十二年度は二・三九万二〇〇〇<sup>ト</sup>に削減され、チーズによる生産増を全く黙殺された恰好となっている。北海道の生産者の意見は「国際競争力と国産チーズ振興を図るために生産者が安い乳価でも我慢して搾ろうとしていたチーズ向け乳量が全体量に含めて配分したためチーズ乳を搾れば搾るほど、チーズ乳より高値の一般枠が減らされるといふ矛盾を含んだ。」こうした状況の中で二十四日に開催された北海道農協酪農対策本部委員会で、今回の計画配分を承服できないことを中央に表明すると共に今後の対応を本部長の床鍋繁則北海道農協中央会会長に一任し、チーズ振興に当たつての基本的精神を背景にした需給計画の組み立て方などを中央と話し合うことにした。また今回の枠外での乳業メーカーとの原乳取引への農林水産省の行政指導なども求める考えがある。

中酪が決定した62年度の北海道の生乳計画生産内容



北海道地方長期予報

3月から5月の  
3か月予報

2月20日札幌管区気象台発表

気象概況

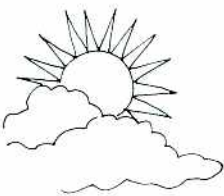
この期間、寒暖の変動が大きく、三月は時々寒さの戻りがあるでしょう。

月別予報

三月 時々、季節風が強まり、寒い日が多いでしょう。平均気温はやや低く、降水量は平年並の見込みです。

四月 天気は周期的に変るでしょう。平均気温、降水量とも平年並の見込みです。

五月 気温の変化が大きく、曇りや雨の日が多いでしょう。平均気温はやや低く、降水量は平年並ですが東部ではやや多い見込みです。



## 意見発表と消費の動き

武佐 中司 哲雄

## 酪農NOW &amp; FUTURE

去る一月二十一日、東京で中央酪農会議主催によ

る、酪農経営改善意見交換会という集まりが開かれました。

全国から約百名の酪農家や、関係職員が集まって、現地の経営改善についての意見交換等を通じて、今後の取り組み方や酪農経営の合理化を考える内容のものでした。三名の意見発表を行い、それを「たたき台」に意見交換をするので、北海道からも、発表者を一名出して欲しいという要請が中酪からあつて、それをホクレンの中標津支所が引き受けてしまったらしく、根室地区農青協に人選の相談が行き、その悪友共の推選で、「複合経営だなど、何でもやっていて、おしゃべりなあい

がよい」と私の所へお鉢が回つて来たようです。

中酪には生乳の全国配分や消費拡大提出金等の事で、大いに不満を持っているので、何が今頃全国から集まって意見の交換だなどと、ホクレンの担当者にかみついて見たものの、結局は引き受ける破目になってしまいました。何を目的にどんな内容でどんな意見交換をするのか、皆目見当がつかず全く困ってしまいました。が、とも角、自分がこれ迄赤字続きから黒字へと通つて来た過程と、それを振り返つて何が大事だったかを話し、



その後酪農の現状と問題点を話す事にしました。以下、その時の内容をかいつまんで書きますので、「えらそうに」と笑いながら読んで下さい。経営については省略します。

が、今、その過程を振り返って言える事は次の三点になるかと思ひます。

第一は、経営拡大の時期に見かけ上とても苦しい時期があるが、それが資産の増加に行っている見かけ上のものか、本当に問題のある赤字かを見極める必要がある事。

第二は、経営の改善に単位生産力の向上が不可欠である。

(当り前)

第三は、いろいろな情勢に対応できるよう危険分散を図ることで、安定性が増すという事、言い換えれば不透明不確実といわれるこれからの時代には、複合化した方が有利だと言う事です。

さて、今私達は伸び率ゼロ生産と、プール価格の下落という二重苦の中に居る訳ですが、これは当然ながら所得率、所得額の低下に繋がる訳です。農家としては他の収入源を増すか、厳しい出費の抑制で対応するしか方法はないのですが、そんな中で共済組合や、農協等に支出しているお金を見直す必要も出て来る訳です。

事故率の低下やそれぞれの経営の自立といった事で、抑えられる出費もかなりのものになる筈だからです。このようなかでこれ迄の酪農の問題点を上げてみると、大きなものは四つあると思われれます。

第一は技術の研究と開発の遅れ。

第二は公的機関での技術指導の遅れ。

第三は農家段階で良いと言われている事、中途半ばにしでしまう事。

第四は、牛乳の流通が政治的な力関係で決められている事です。この事については、「もし今迄のように北海道にだけ、乳製品やチーズといった外国と競争させられる分野を押し付けて、プール乳価の格差を上げるようなら、北海道としてはプール乳価を上げるため、自由流通に走らざるを得ない。」と発言したのですが全く反応がなく、府県としてはもう大して問題ではないのかなどとも思ったものです。少くともこの四点が解決出来れば、

我々の酪農も世界に互し、あと三十年は生き残っている事が出来ようかと思えます。ただし今の危機を乗り越えればの話です。当面の課題は矢張り良質基礎飼料の確保など、基本技術の実行と消費の拡大に尽きると思います。石にかじりついてでもこの二つを解決しなければ、将来展望など開けないでしょう。

ところで、その消費の動きですが、意見交換会の前夜に農水省の若手や、中酪の若手の人達と話す機会があつて、今の消費の新しい動きを聞いたのでその事をつけ加えて置きます。

今日の消費は多様化、差別化の時代に入ったと言われています。米、ジャガ芋等、大きく銘柄で売られて来たのがその第一段階です。更に野菜などでは、〇〇農協のレタス、キウリ「××さん生産のリンゴ、ナシ」といった具合で、顔写真まで掲げて売られるようになってきているという事です。それは、食べ物に対する不信

感の裏返しとして出て来ているようです。それが、牛乳においても同様で、那須高原牛乳、千葉酪農協牛乳、北海道牛乳はまだしも、町村牛乳、小岩井牛乳、果ては、〇〇さんちの牛乳、等がもてはやされていて、一日に何本かしが入荷しないそのような牛乳に行列が出来程という事です。また別の動きとしてロングライフミルクに対する不信(タンパク変成やカルシウムの無効化の疑い等に端を発した。

高温殺菌牛乳アレルギーから、低温殺菌牛乳への関心の高まりが見られるようです。普通の牛乳より割高なのですが、それでも味、風味、コク、そして信頼感が有れば、飛ぶように売れてしまうそうです。ただ、この殺菌方法では、不完全なので、公になってはいないけれど、「ヨコ8牛乳」と陰で言われている細菌数無限大の牛乳が時々出てしまつて、除々に問題になって来ている。そうで、矢張り牛乳の段階で、細菌数の少ないものが、厳しく

要求されるようです。この様に、これからは中味の濃い、味、風味の良いコクのある、きれいな牛乳が求められ、そのような牛乳なら少々高くても売れるか、同じ値段ならそのような牛乳が先に売れるという、極く当り前の事が、どんどん進んで行くように思われます。今、私達は、消費の拡大を進める上でも、また近い将来予想される激しい産地間競争に勝つ為にも、そのような牛乳を、他の地域に先駆けて出荷する意気込みを持たなくてはならないと思えます。少くとも、中標津の牛乳は要らない、と言われない為にも、或いは飲用には向けられないから安くしか買えない、と言われない為にも、それぞれれが不断的努力をして置かなくてはならないと思えます。

生意気な事を書きましたが、ここで負けて死んでしまふ訳にも行きませぬので、皆で頑張らましよう。

昭和61年度

緊急良質生乳

供給特別奨励金

第3、四半期分支払

2月28日

昭和六十一年度畜産物価格関連対策の新規事業と発足した。緊急良質生乳供給特別奨励金交付事業の第三、四半期分下記のとおり支払いました。

奨励金支払内容

- 1) 奨励金支払対象数量(kg)各四半期受託一等乳量
- 2) 奨励金支払対象数量(9月~12月)  
15,125,642.5 kg  
奨励金支払単価(円/kg) 1円0401  
奨励金支払金額 15,732,184円

## 日常雑感

心の豊かさを  
求めて第2侯落・北進  
来栖 多美子

父親の不幸で六年ぶりに帰省したわが故郷は、想像以上であつた。子供の頃に鮎をすくった裏の田んぼは住宅地になり、トンボを追いかけた前の林は、倉庫ター

ミナルや高速道路に変わつていた。行きかう人の懐は暖かそうに私には思えた。しかし、人々の心は変わつてしまつたのだろうか。春夏秋冬、折々に咲き乱れていた草花の姿はどこにもなく、探し求めた花壇はついに見る事

は出来なかつた。北海道には緑がある。津軽海峡を渡ると眼下に緑のじゅうたんが広がつて来る。四季折々の花が咲く庭、公害のない新鮮な野菜、牛乳、手作り食品等々、農家ならではの楽しみがいっぱいある。

六年ぶりの帰省は、私に日頃忘れかけていた農家の良さを改めて思い起こさせてくれた。酪農の現状、将来は厳しいと言われているが、心の豊かさだけは失いたくないものである。

最近、みなさんは新聞やテレビでよく、酪農が大変な時だと知っていると、思います。家でもよく食事の時などに、

すが、ピンクの牛乳が三十から四十。くらいあります。それは、毎日の牛乳の何%か

子牛の体にもあまりよくないからです。どうして牛乳が余るようになったのでしょうか。

飲んでもらえない、乳製品を使つてもらえないことが、大きな理由です。そうだとすると、どうすれば飲んでもらえるか、使つてもらえるかを考えるべきです。

牛乳を生産する方も「牛乳を買つて下さい」と言うばかりでなく、消費者の方々に「使つてもらおう」「買つてもらおう」努力をすべきです。

父母が「牛乳を沢山しほつても買つてくれないし、そうかといつて牛を減らすわけにもいかない」と話しています。

今年の春先に、二百二十本のバターが玄関に置いてありました。私は吃驚。「これどうしたの」と母に聞くと、

私の家が毎年、三、四人都会の大学生が実習に来ますが、バターを使った料理をすると「おいしい」と言つてよく食べます。都会の人達はあまりバターを食べないようです。私達は暑い時、冷たいジュースやコーラをよく飲みます

酪農王国のデンマークは、牛乳消費量が世界一だそうです。国民が牛乳の良さを知り、毎日の生活に大量の牛乳を使つているのだと思います。

国の安い牛乳に負けない安い質のよい牛乳を生産することが第一です。そのために努力をすべきです。

「昨年割り当てより余計しほつた牛乳で作つたチーズや粉乳は売れたけれどバターが売なかつたので、農家に乳代の換わりにバターが還元された……」と答えてくれました。

一度に二百二十本のバターがきたら、みなさんならどうしますか。

外国から沢山の乳製品が輸入されています。その分だけ日本のものが余ることになります。

多くの家庭が、朝夕に牛乳を飲み、料理の材料として牛乳を使用する習慣ができたなら、それだけでも牛乳の消費量が大きく違つてくると思っています。

多くの人が活用してもらい、健康増進のために役立ててほしいと思います。

## 第12回 中標津町中学生弁論大会

(61.11.29)

私の主張  
子牛が泣いている

侯落中学校1年 松本 咲枝



を売れないように色を付けたものです。子牛にそのピンクの牛乳を飲ませるのですが、

牛乳がなぜ余るのか……理由の幾つかを述べてみました。もち論これだけが理由ではないと思つていますが、牛乳が

多くの家庭が、朝夕に牛乳を飲み、料理の材料として牛乳を使用する習慣ができたなら、それだけでも牛乳の消費量が大きく違つてくると思っています。

紅く染められた牛乳を飲む子牛を見て、きつと子牛も、こんな牛乳は飲みたくない、と泣いていると私は思っています。

# 農協熟年会

## 冬期研修が盛会に開催された

熟年会の冬期研修が二月十九日から二十一日(二泊三日)に鈴木吉三会長ら会員九十四人が参加して、弟子屈町錫別温泉、摩周国際ホテルを会場にして盛会に開催された。

一日目は老人の健康管理について、保健指導センターの船越保健婦さんの指導で、老人特有の「ボケ」対策として、健康管理に関する「クイズ」で脳味噌の若返りを図ったり、二組に別れて対抗のゲームは「ペアによるリレー」で、男「愛



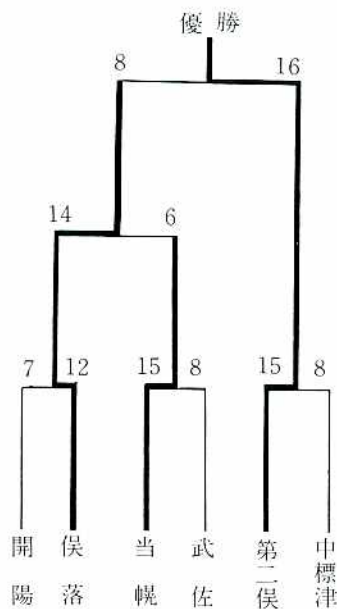
健康管理に関する「クイズ」に挑戦

しているよ。」女「私もよ」で楽しみ爽やかな汗を流した。

続いて佐野宮農部長からは、農協事業全般の概況と厳しい一次産業・農業情勢についての説明には、会員一同うなずきながら真剣に耳を傾けていた。会食時の懇親会では芸能大会が催され、カラオケに踊りにと若さ?を發揮し妍を競った。

二日目は六チーム出場のゲートボール大会が行われ、日

〈組み合わせと成績表〉



頃の練習成果を存分に発揮?され、熱戦をコート上に展開した、トーナメント戦の成績は次のとおりです。

優勝 第二俣落西竹チーム  
準優勝 俣落チーム  
三位 当幌チーム  
四位 武佐チーム  
五位 開陽チーム  
六位 中標津チーム

なお、組合長杯は優勝した第二俣落西竹チームに二回目の授与となった。



第1ゲート通過、緊張の瞬間でした

今回の研修にはかつてない大勢の会員が参加され、ふだん疎遠になり勝ちですが、この機会を通じて交流と親睦の大きな輪を広げられ深い意義があったと思われる。



カラオケに合わせての名演技?



芸達者に、全員で拍手を贈る

昭和62年3月10日

今期の農協役員海外研修として、ヨーロッパの酪農を視察研修をして「将来」私達の経営の参考と展望を見出す事を目的として、過去二回にまたがって実施され、それぞれの形で参加した理事から組合員の皆様に報告されていますが、今回は都合でヨーロッパ視察に参加出来なかつた役員が協議の結果、オーストラリア・ニュージーランドの畜産と酪農を視察する事になり、全国農協観光のオーストラリア・ニュージーランド畜産酪農視察10日間のツアーに参加いたしましたので、その概況を報告いたします。

農協観光ではオセアニア地方へのツアーは初めての試みとして計画された様で、今回のツアーの成果を大変期待していた様です。

参加者は熊本県菊池郡の各組合長八名、熊本県農協中央会菊池支所長・青森県十和田市・三沢市・市浦村の各農協組合長三名、それに私達、中標津町農協理事四名、外に二名、一行十八名で団長に熊本県泗水

ニュージーランド 昭和62年1月19日(月)～1月28日(水)

# 視察10日間

中標津町農協 理事 藤井 弘美



農協組合長・井手利種氏・青森県十和田農協組合長・中川原儀雄氏を副団長として、日本の南と北の集団で実施されました。幸いに天候にも恵まれたし参加者一行も元気でました。現地の農場主等の受入れも適切で、内外共に気苦労する

ことなく大変有意義な研修をすることが出来ました。シドニーでは全農シドニー事務所の池田氏、更にオーストラリア畜産公社の職員によるオーストラリア畜産の状況説明を受けたが、オセアニア農業概況の最も新しい資料を戴き両国農業の実態を数字から把握する事が出来ました。メルボルンでは雪印乳業オセアニア事務所の岡田所長から、オセアニア酪農事情の資料を戴き、両国と日本の酪農・畜産との関係について更に認識を深める事が出来ました。現地のお二人と共に、出発前にオセアニア事務所に連絡を取って下さいました。雪印中標津工場長に改めてお礼申し上げます。それでは視察の経過を日程に従って記します。



旅行出発当日成田空港にて中標津一行四名

一月十九日(日)十七時三〇分東京成田空港に集合、四階特別室で結団式を行いビールで乾杯、冬服を夏服に着替えてドル交換をする(オーストラリア、百九円、ニュージーランド、八八円が目安)。十九時三〇分、日本航空77便の機上の人となる。塔乗と同時に時計の針を二時間進める(時差一時間と現地のサマータイムによる一時間)二〇時に離陸搭乗一時間後に機内夕食が出る。ボリュウムがあり大変美味しかった。飲物はワイン・ウイスキー・ビール・ジュースなど好みによりお代わりも出来た。二三時～二四時になると殆どの乗客は眠りにつき機内は静かになった。

一月二十日午前三時頃、トイレに行く人の足音で目を覚ます。窮屈で尻と背中が痛い、五時半に機内チャイムで皆んな起される。早速朝食が出るパンを主食にした軽食で食欲がない、六時十五分頃夜明けになり薄暗がりの中にボンヤリとオーストラリア大陸の夜明が見られ、赤茶けた山々が



眼下に広がり全く日本と異な  
った不思議な世男を見る思い、  
初めて見る外国オーストラリ  
ア大陸だ、低いうねる様な山  
脈が二重・三重に南北に走り、  
茶褐色の山肌に青味は全くと  
言ってよい程見当らない、索  
漠な大地である。七時頃シド  
ニー近くなって漸く牧場が眼  
下に見える様になった。七時  
二〇分シドニー空港に着陸、  
各々に荷物を受け取り入国手  
続きと税関検査、入国手続き  
の官吏が「グッドモーニング」  
仲々愛想がよいので私達の緊  
張も一変に解れる。荷物の検  
査はスムーズにパス、思っ



シドニー港

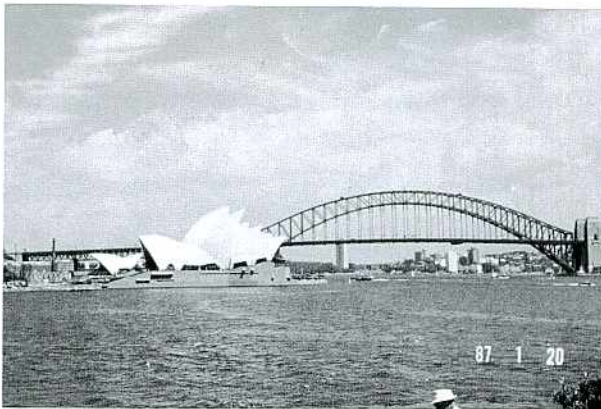
# オーストラリア・ 畜産・酪農



いたより簡単に済みまし  
た。十一時半、バスでマッフォ  
リー岬・ボンダイビーチ等を  
観光、オーストラリアスケ  
アタワー四七階の回転レスト  
ランで、シドニーの眺望を楽  
しみながら昼食、午後からシ  
ドニーオペラハウス・ハーバ  
ブリッジ・シドニー湾クルズ

等を観光して、シドニー中心  
街を通りヒルトンホテルに落  
ち着く。(十六時三〇分)  
シドニーはオーストラリア  
最大の都市で人口三百万人、  
起伏と入江に富んで世界三大  
良港の一つに数えられている、  
地形に合わせて整然とした家  
並は、上空から見ると森の中  
に街がある様な緑の多い涼し  
い街でした。家々の屋根は茶  
色が主体で周囲の緑と良くマ  
ッチして落ちつき、それぞれ  
の家屋の周りは芝生でかこみ

必ず花木が植えられており、  
そこに住む人々の自然を愛す  
る気風が伺えました。市の中  
心部は近代的なビル街ですが、  
全体として調和の取れた素晴  
らしい街でした。街の住人は  
白・黒・黄色系と種々雑多で  
思ったより小柄な人が多い、  
白人系に美人が見受けられ開  
放的で人懐こい感じを受けま  
した。気温は二七度〜二八度  
位で直射日光の下では暑さを  
感じるが、木陰などでは本当  
に涼しくて汗を流す事はあり  
ませんでした。



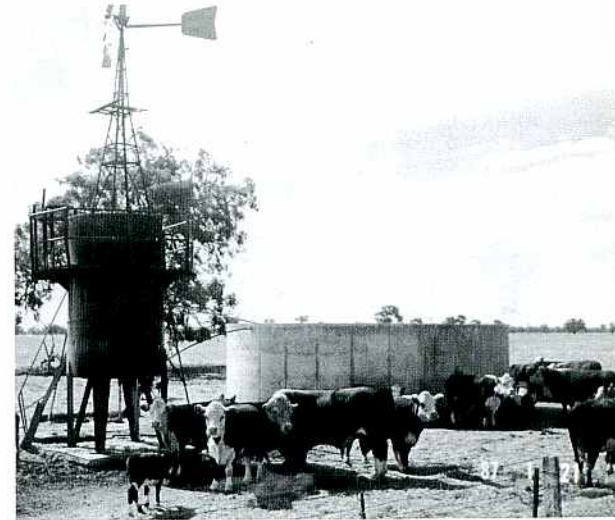
シドニーハーバーブリッジとオペラハウス

一月二十一日、午  
前中小雨、気温二七  
度、朝九時にヒルト  
ンホテルをバスで発  
ち、今後の予定では  
買物の時間が取れな  
いとの事で、午前中  
免税店を回り思い思  
いに買物をする。昼  
食は港に面したシド  
ニー一番の魚料理店  
オスター・フレッシュ  
ユ・レストランで魚  
料理を食したが期待  
した程ではなかった。

午後からシドニー空港十三時  
半発の国内線でオルペリーに  
中標津空港を少し大きくした  
規模のいなか飛行場に着いた。  
乾燥しきって枯れた草原の中  
にポツンと取り残された滑走  
路、ターミナルの駐車場に日  
本製の乗用車と小型トラック  
10台が主人の帰りを待って駐  
車していた。  
私達一行は待っていたバス  
に乗り込み肉牛牧場視察に向  
かう、道程一時間、広大で乾  
き切った黄色い牧場と牧場の  
中に日影用に配置し残したと  
見られるユーカリの大木、そ  
の木陰に群がる肉牛(ヘレホ  
ード、アンガス)と羊の群を  
遠くに近くに見ながら、バス  
はユーカリの並木道を時速百  
で南に向って走るが行き交  
う車輛はなかった。  
私の知識では夏になると南  
も北も青々と植物の生育期だ  
とばかり思っていました、  
ここにきてその常識が大きく  
違っている事に気付くと同時  
に、地球の大きさを改めて見  
届けた気がした。  
漸く目的のキスネット牧場



キスネット牧場にて一家と記念写真



キスネット牧場、水飲場、経営面積530町、肉牛70頭(ヘレホード) 羊700頭(ホルドーセイト)飼料用エンバク42町

セイト

飼料用エンバク四二ヘクタール

牧草の反収は二ト

に到着、国道から住宅までの私道(約一徳)は両側にポプラが植えられ大きな木陰が出来ていた。バス到着と同時に家族全員が外に出て迎えてくれた、早速皆さんで記念写真を撮り説明を聞き各々が質問すると、主人も家族(夫人・子供二人)も愛想よく答えてくれました。

キスネット牧場の概況

家族構成四人(子供二人) 規模、経営面積五三〇ヘクタール

肉牛、七〇頭(ヘレホード) 羊 七〇〇頭(ホルドー)

肉牛の七〇頭は九〇%が繁殖用(仔取)で年間二〇〇三〇頭を販売する、仔牛市場に九月十二カ月、体重三百斤程度で出荷する。親牛は肉牛共用として二七カ月十五年位の使用し(耐用平均七〜八年)廃用(肉牛)とする。当たり三百ト、三五〇ト施設は古い畜舎と飼料庫それに乾燥貯蔵用吹抜一棟で簡単な物であり農機具は見当たらない、

牧場内の一部を見学したが草種が分からない程なめくされており枯れていた。給水は地下水を汲み上げるので大変苦勞している様です、それでも牛の肉付きが良いのには感心させられた。

別れ際に牧場主の彼は「日本の皆さんがもつと肉を輸入してくれろと有り難い」と言っていたが、綿羊についてはあまり語らなかつた。住宅の前に(日向夏ミカンに近い)植えてある柑橘に黄色い実が数多く付けているのが特に目に留まった。素晴らしい家族

に別れを告げて午後六時オールベリーのホテルに一行を乗せたバスは到着した。 オールベリーの街はビクトリア州の内陸に位置した純農村都市で、人口七五、〇〇〇人落ち着いた静かな街並みに四車線の広い道路、車道の端に樹令八〇〜百年位のニレ・アカシア等の街路樹が植えられ其の外に歩道があつた。バスは街路樹の枝に屋根を撫でられながら走っていた。日中の気温は三〇度位に上昇するが街路樹の木陰は涼しい、夕食後ホテル前のカジノを全員で見学した。

オールベリーはシドニーから三七〇、首都メルボルンから二〇〇の内陸に位置して人通りの少ないのに驚く程静かな街であつた。

一月二十二日、午前八時半昨日と同じバスでメルボルンを目指してオールベリーのホテルを発した。途中キワートのマリーゴウバン牧場と野菜肉牛複合経営農家アサ農場を視察見学する。

牧場(酪農)デニース氏 規模三五〇ヘクタール、乳牛三〇〇頭(ジャージー九〇頭、フリージャン二〇頭)、施設、四二頭搾乳廻転パーラー



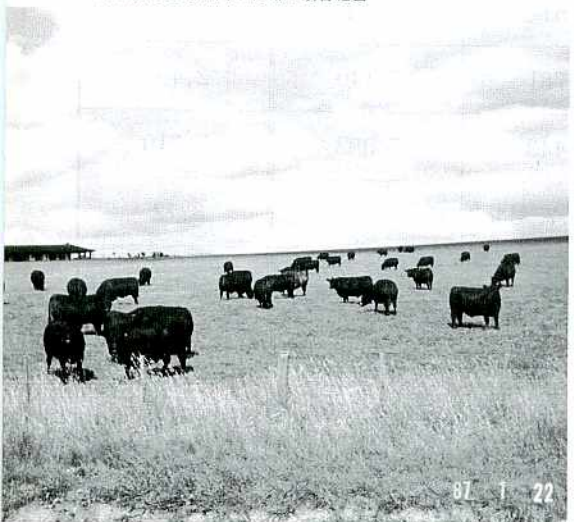
マリーゴウバン牧場350町、乳牛300頭(ジャージー90、フリジャン220) 1日搾乳量4,600ℓ〜6,000ℓ

基(メーカー・ウエスタン)六カ月前完成、建設費九万。 耐用年数は二〇年。

管理者は常時二人(男女) 季節パート二人、一日の搾乳量四、六〇〇〜六、〇〇〇、一頭当たりの日量は二〇詰位 配合飼料は一日一・五詰(主として大麦) 乳価一・十三



ゴールド、ストリーム、アサ農場、アサ氏をかこんで、400町で野菜50町、350町は肉牛牧場の複合経営



アサ農場、肉牛牧場

二五〇（十円二十円）、国の資金、助成などはないので、施設費などは市中銀行からの借入で利息は十四・十五%とデニース氏の説明でした。

搾乳された牛乳は隣接の酪農工場に直接送られる仕組みになっているので一般的な酪農体形とは異なる様でした。乳質等についてもそんなに心配りしている様子もなく、牛舎もあまり清潔とは言えません、またハエが多いのは閉口しました。牛舎周辺の環境整理も私達の普通農家と同様に、さして代わり映えした事は有りませんでした。

ゴールド・ストリーム・アサ農場、野菜（豆、キャベツ）肉牛の複合経営農場の規模は四〇〇ヘクタール、野菜五〇ヘクタールに豆、キャベツを作付け、三五〇ヘクタールの牧場に肉牛四〇〇頭（アバデアンガス）、野菜（豆、キャベツ）は一月に植付け、八月に収穫してシドニー、メルボルンの野菜市場に輸出用として出荷している。収穫は女性パートを雇う、労賃は一か六〇〇（約五〇円）で一日に十か二程でできる様です。

肉牛の販売価格は詰当たり一六〇〇位（約百二十八円）

とアサ氏の説明の内容が詳細には把握できないが、野菜五〇ヘクタールを取り入れる事によって、牧草畑の更新がスムーズに出来るので良質な牧草が得られる、良質の牧草を飼料させる事で肉牛の肥育が良好となり安定した経営となっている。複合経営の強みと地力増進による輪作経営管理は、農業において何処の国でも絶対に大切で必要欠く事の出来ないことを実感いたしました。

夕方の四時頃、今までの涼しさから肌寒さになり、早々とバスに乗車メルボルンに向う、

オールベリーからメルボルン迄二〇〇キロ、二戸の農場を視察しながら南下して行く道程は、黄色の牧場が少しづつ青味が増えて涼しさは更に加わって来た。なだらかな起伏も多くなり大変なような農家も見受けられ、草地もギンギシヤ雑草が一面に広がり赤茶けた牧場もあり、経営が皆一様に行かない様子が見られた。

途中、西暦一八九二年に金が発見された町ビーチワース、ゴーストタウン（岩の上の町）

一時にメルボルンを離陸オーストラリア大陸からニュージーランドに向った。

で小休止、映画で見るアメリカ西部を思い出させる造りと街並みは、ゴールドラッシュ当時の喧嘩が惚ばれる町でした。夕食後九時に私たち中標津の一行四人は、雪印乳業オセアニア事務所長、岡田勉氏のご厚意により約一時間メルボルンの夜の街を車で案内して戴く、それから一流レストランでワインとビールを飲みながら話しが弾んだ。

一月二十三日、快晴、午前八時三〇分ホテル・ノアーズをバスで出発して約二時間メルボルンの市内観光、午前十

一時にメルボルンを離陸オーストラリア大陸からニュージーランドに向った。

オーストラリア滞在中シドニー、オールベリー、メルボルンとオーストラリア大陸の東海岸に近い一部を視察しましたが、各々の土地に自然が有り人々の生活が有ることを教えられた。オーストラリア建国二〇〇年（私達の北海道は開道百三〇年）開拓時代を送った新しい国として、色々な移民族が融和して素晴らしい社会と国家をつくり、農業国としても更に発展することであらう。

（ニュージーランドの畜産・酪農視察報告は次号へ）



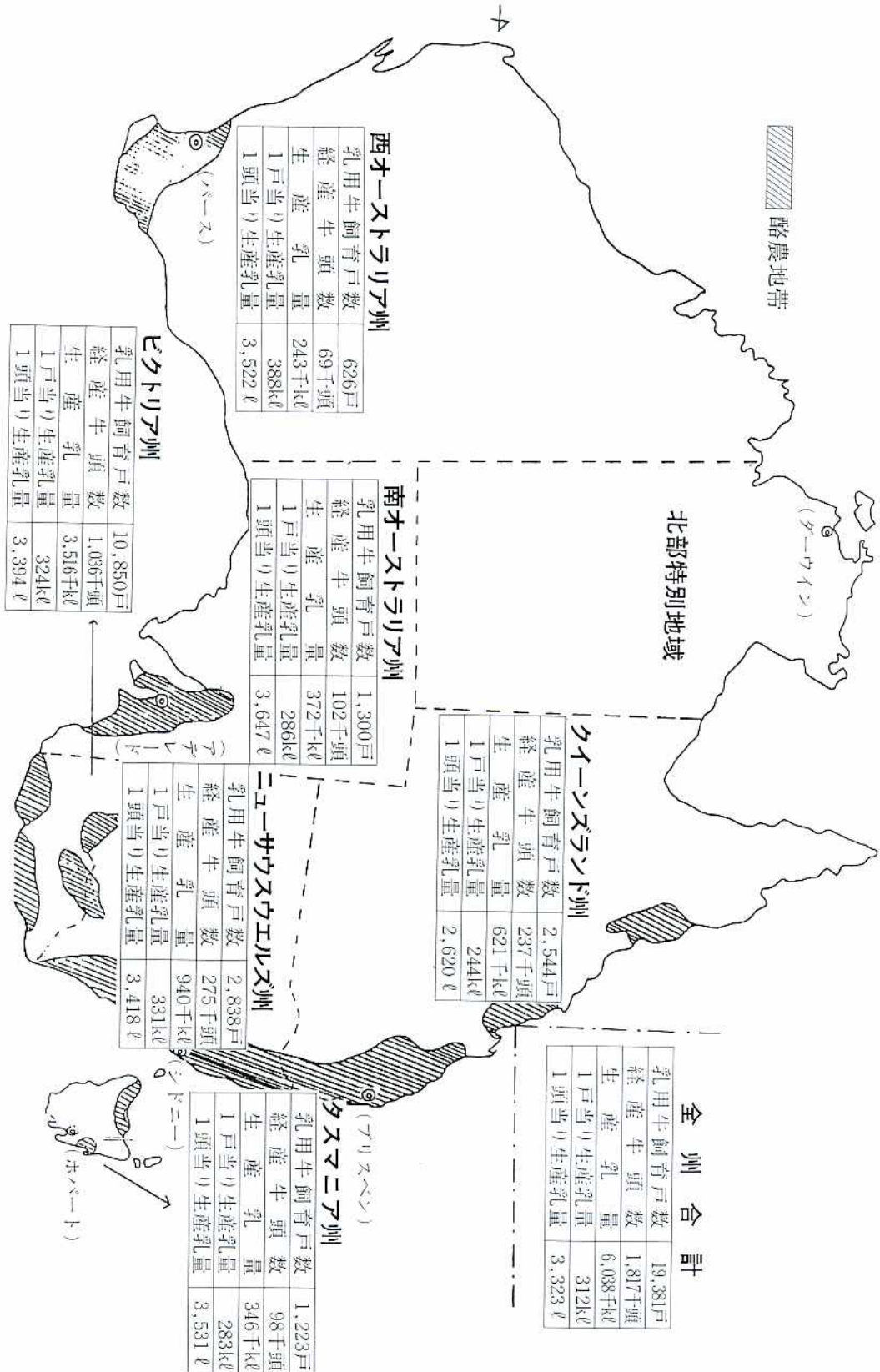
## オセアニア・日本酪農産業比較表

項目	年	単位	オーストラリア	ニュージーランド	日 本	北 海 道
酪農戸数	1984	戸	20,058	15,000	87,400	17,900
乳用牛頭数	"	千頭	2,376	3,300	2,110	795
経産牛頭数	"	千頭	1,809	2,260	1,324	431
1戸当り乳用牛頭数	"	頭	118.5	220	24.1	43.1
1戸当り経産牛頭数	"	千頭	90.2	151	15.1	24.1
牛乳生産量	"	千t	6,231	7,781	7,140	2,461
経産牛1頭当り生産量	"	kg	3,444	3,443	5,393	5,710
平均脂肪率	1983	%	4.4	4.77	3.6	3.72
市乳生産率	1984	%	26.4	7.0	60.6	15.7
加工乳生産率	"	%	73.6	93.0	37.9	82.7
1戸当り生産量	"	t	311	519	81.7	137.5
乳 価 (加工乳) (3.2%、kg当り)	"	円	13.68	14.77	110	95
経産牛1頭当り総収入	1983	千円	(628Aドル) 94	(603NZドル) 78	624	575
(総収入の内、牛乳) からの収入	"	千円	(564Aドル) 85	(521NZドル) 68	(563)	(509)
(総収入の内、牛乳) 以外からの収入	"	千円	(64Aドル) 9	(82NZドル) 10	(61)	(66)
経産牛1頭当り総支出	"	千円	(321Aドル) 48	(438NZドル) 57	418	398
経産牛1頭当り総利益	"	千円	(307Aドル) (49%) 46	(165NZドル) (27.4%) 21	(33%) 206	(31%) 177
乳 飼 率	"	%	5.0	6.0	34.6	24.0
資 本 額	"	千円	63,178	76,244	(1982年) (府県) 28,080	(1982年) (北海道) 32,294
負 債 額	"	千円	8,150	14,206	32,995	68,827
自 己 資 本 率	"	%	87.1	81.4	△17.5	△113

(オーストラリアの酪農経済値は) (※Aドル=150円) (府県・北海道の資本・負債額)  
(ビクトリア州を対象) (NZドル=130円) (は、酪総研第Ⅱ部資料参考)

# 4. オーストラリア州別酪農指標 (1985年6月30日現在. オーストラリア酪農公社年報)

畜産酪農資料 1987.1.22



## 全州合計

乳用牛飼育戸数	19,381戸
経産牛頭数	1,817千頭
生産乳量	6,038千kℓ
1戸当り生産乳量	312kℓ
1頭当り生産乳量	3,323ℓ

## クインズランド州

乳用牛飼育戸数	2,544戸
経産牛頭数	237千頭
生産乳量	621千kℓ
1戸当り生産乳量	244kℓ
1頭当り生産乳量	2,620ℓ

## 北部特別地域

## 南オーストラリア州

乳用牛飼育戸数	1,300戸
経産牛頭数	102千頭
生産乳量	372千kℓ
1戸当り生産乳量	286kℓ
1頭当り生産乳量	3,647ℓ

## ニューサウスウェルズ州

乳用牛飼育戸数	2,838戸
経産牛頭数	275千頭
生産乳量	940千kℓ
1戸当り生産乳量	331kℓ
1頭当り生産乳量	3,418ℓ

## タスマニア州

乳用牛飼育戸数	1,223戸
経産牛頭数	98千頭
生産乳量	346千kℓ
1戸当り生産乳量	283kℓ
1頭当り生産乳量	3,531ℓ

## 西オーストラリア州

乳用牛飼育戸数	626戸
経産牛頭数	69千頭
生産乳量	243千kℓ
1戸当り生産乳量	388kℓ
1頭当り生産乳量	3,522ℓ

## ビクトリア州

乳用牛飼育戸数	10,850戸
経産牛頭数	1,036千頭
生産乳量	3,516千kℓ
1戸当り生産乳量	324kℓ
1頭当り生産乳量	3,394ℓ

酪農地帯

(メルボルン)

(パース)

(アデレード)

(ブリスベン)

(ホバート)



子供らに人気の高い餅つき大会

中標津の冬を楽しむ「第十  
二回なかしべつ冬まつり」が、  
一月三十一日（前夜祭）と二  
月一日の二日間、中標津中学  
校グラウンドを会場にして催さ  
れた。

例年のとおり農協青年部も



前日から用意した芋団子を  
慣れぬ手付きで販売する農協

この冬まつりに協賛して、牛  
乳・ビーフ・馬鈴しょ・馬澱  
米などの消費拡大を図る目的  
でキャンペーンを実施した。

青年部出店のメニューは、  
ホット牛乳・カフェオレ・い  
もダング・おしるこ（有料）  
きなこ餅（無料）など（牛乳  
八〇ℓ・馬鈴しょ八〇kg・澱  
粉二〇kg・砂糖二〇kg・餅米  
十五kg）を用意したが、過去  
最高の人出（延べ一万五千人）  
となり、青年部出店のメニ  
ューは大変な好評で、大勢詰め  
掛けた町民の胃袋を満たした。  
部員にとって負担は大きか  
ったが所期の目的は充分に果  
された。

●農協青年部●

なかしべつ冬まつりで

牛乳・馬鈴しょの  
消費拡大キャンペーン



冬を楽しむ、いも団子を食べる親子



農協青年部の出店に大勢の町民が訪れた

# 「乾乳牛の放牧期飼養改善による 分娩後の低カルシウム血症の予防」

昭和六二年一月に開催された北海道農業試験会議で普及奨励技術になったものの中から、「乾乳牛の放牧期飼養改善による分娩後低カルシウム血症の予防」について紹介します。

分娩直前まで全日放牧した牛群では、七頭中三頭が分娩後に低カルシウム血症を示し、うち二頭が起立不能となった。

しかし、分娩二週間前から放牧を制限して乾草を併給した牛群は、全て正常であった。

### 飼養形態区分二

分娩直前まで生草を青刈り給与しても、生草を二時間給与後乾草を併給しても起立不能の発生はなかった。しかし、分娩後の血中カルシウム濃度が、生草単用群では、七・五五ミリグラム/dlと低下し、七頭中一頭が低カルシウム血症を示した。

### 飼養形態区分三

妊娠末期の乳牛に対し、生草を二時間給与し、乾草を併給したところ、分娩前にカルシウムを給与しても起立不能

の発生はなかった。しかし、一日あたり、カルシウムを、一五〇グラム以上給与すると六頭中二頭が低カルシウム血症を示した。

### 飼養形態区分四

分娩前、生草給与に大豆粕を添加し、高蛋白質とした栄養条件下では、生草単用群で、六頭中一頭が起立不能となったが、乾草あるいは牧草サイレージを併給した牛群では、起立不能の発症はなかった。しかし、牧草サイレージ併給群で高産次（五産・六産）の二頭が分娩後低カルシウム血症を示した。

### まとめ

妊娠末期に放牧や生草の給与を制限し乾草を併給することにより、低カルシウム血症の発生を低減できた。しかし、放牧や、生草給与を制限し、乾草を併給しても、分娩前の栄養摂取が高カルシウム（一日あたり一五〇グラム以上）や、高蛋白（DCP充足率が二五〇%以上）となった場合生理的には分娩後低カルシウム血症となる可能性がある。

特に起立不能症の前歴のある牛や産次の高い牛には、十分注意することが大切です。

### 飼養形態区分一

その概要は次のとおりです。

表一 妊娠末期の飼養法改善と低カルシウム血症(根釧農試)

飼養形態区分	頭数	起立不能	分娩前摂取		分娩後血液成分		
			DCP	Ca	Ca (低Ca血)	Pi (低Pi血)	Mg (Mg血)
1 全日放牧 放牧+乾草	頭	頭	kg	g	mg/dl(頭)	mg/dl(頭)	mg/dl(頭)
	7	2	—	—	7.29(3)	2.59(3)	2.33(0)
2 生草給与 生草+乾草	7	0	1.18	78	7.55(1)	2.11(1)	2.37(0)
	6	0	0.91	61	8.43(0)	3.01(0)	2.14(1)
3 生草+乾草(ミネラル給与) Ca 150g 100g 50g	6	0	0.92	155	8.16(2)	2.98(1)	2.08(0)
	6	0	1.13	113	8.25(0)	3.47(1)	1.64(0)
	6	0	1.04	58	8.39(0)	3.16(2)	1.66(1)
4 高蛋白給与(大豆粕添加) 生草給与 生草+乾草 生草+サイレージ	6	1	1.93	75	8.04(0)	3.17(0)	2.52(0)
	6	0	1.64	71	8.76(0)	3.36(0)	2.16(0)
	6	0	1.57	77	8.33(2)	3.05(0)	2.59(0)

低Ca血<7.0mg/dl、低Pi血<2.0mg/dl、低Mg血<1.0mg/dl



澱粉原料にも類も計画的な生産に入る

# 馬鈴しよ **並びに** 馬鈴しよ澱粉の適正生産

去る1月30日付で、農林水産省から北海道知事あてに「国内産いも澱粉の生産の適正化について」の通達が出ました。

## ●通達の内容

澱粉の需要の確保と価格の安定に努めるとともに、澱粉原料いも類の計画的な生産が行なわれるよう指導願いたい。

澱粉需要が頭打ちの中で、いも澱粉の生産が依然として増加傾向にあることに加え、最近の国際相馬の低迷と、円高の進行により輸入とうもろこしの価格が低落する等、国内産いも澱粉をめぐる情勢は厳しいものがある。

このような国内産いも澱粉をめぐる情勢にかんがみ、この度、澱粉原料いも類について、適正、かつ計画的な生産の徹底を図ることとしたので、ご了知の上、管内関係団体の指導に万全を期されたい。

## ●澱粉の一般情勢について

六十一澱粉年度（六十一年十月～六十二年九月）の需給動向は、国内産澱粉の大巾増に加え、国内産澱粉総需要の横這いがあげられます。

それは、澱粉糖（異性化糖）の需要の頭打ちであり、一方では、すり身価格高騰による、

水産練製品の需要の低速、そして、関連商品メーカーの海外進出と製品の輸入の増大等であります。

このような情勢下にあつて、六十一澱粉年度から六十二澱粉年度に繰越される澱粉数量は、馬鈴しよ澱粉で、五一、〇〇〇トン、甘しよ澱粉で、三、四、四〇〇トン、合計で八五、四〇〇トンと過大な在庫見込となり、これらのことから、生産の適正化が必要となりました。

## ●馬鈴しよ並びに馬鈴しよ澱粉の適正化。

澱粉の一般情勢をふまえ、去る六十一年十二月二十五日、道農協畑作対策本部委員会で用途別、地区別の作付指標が協議検討され、その結論は次のとおりです。

- 一、基本事項。
- (一)用途別、地区別指標面積の厳守。
- (二)地区別澱粉生産量は、示した数字を基準とする。

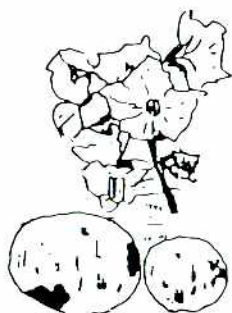
- 二、推進方策。
- (一)工場別澱粉生産量は、地区

内で協議し工場ごとに決める。  
(二)工場別澱粉生産量の基準を越えたものについては、別途協議する。

この結果、根室管内の作付指標面積は、澱粉用で、一、九二〇ヘクタール、種子用で一八〇ヘクタール、合理化工場の澱粉処理量は、四九〇、〇〇〇俵、澱粉生産量は、二一七、五六〇袋に決定しました。

## ●馬鈴しよ耕作者皆様へお願い。

以上のような生産調整が行われることになるので、耕作者皆様の、ご理解をいただきながら取り進めてまいりたいと存じますのでよろしくお願ひ致します。





# 馬鈴しょの新しい

## 除草剤・殺菌剤の紹介

永年馬鈴しょの除草剤としてお馴染みでありましたグラモキソンが、皆さん御存知のように昨年限りで製造が中止になりました。

今年より新しく、プリグロックスとマイゼットがグラモキソンに代わる薬として出て来ております。また、疫病の殺菌剤として持続効果と塊茎腐敗にも効くと言われております。リドミルMZが新しく供給出来ることになりました。

詳しい使用方法等については、馬鈴薯振興会主催の講習会等でも説明しておりますが、農協営農資材課、農産課、普及所にお尋ね下さい。

# 除草剤 マイゼット



農業ルネッサンス

殺菌剤

## リドミル<sup>®</sup>MZ 水和剤

(マンゼブ・メタラキシル水和剤)

革新の技術が生んだニュータイプ。

# 大きな明日へ、新しい力。

速効除草剤 **新発売**

# プリグロックス<sup>®</sup>

## 昭和61年 乳成分、乳代、単価ベスト10位

生乳の計画生産体制の強化および乳価の引き下げと極めて厳しい情勢となっておりますが、このようなときこそ乳質管理を見直し、乳質を向上させて、自ら乳価水準を高めるよう努力いたしましょう。

61年1月～12月

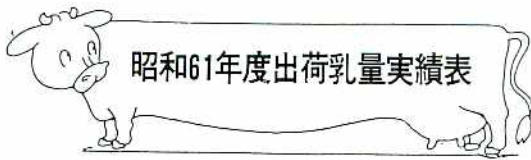
順位	脂 肪 率	%	無脂固形分率	%	乳 代 単 価	円
1	大 木 敏 夫	4.27	下河原 政 市	8.80	大 木 敏 夫	93.07
2	板 橋 松 寿	4.03	佐 藤 一 広	8.79	板 橋 松 寿	91.30
3	山 本 優 文	4.01	滝 場 慎 二	8.76	山 本 優 文	91.07
4	酒 井 清 志	4.00	峰 松 秀 樹	8.71	佐 藤 一 広	90.92
5	吉 田 正 行	3.98	佐 藤 拓	8.71	酒 井 清 志	90.61
6	小 谷 盛 一	3.96	工 藤 重 美	8.70	坂 口 弘	90.57
7	遠 藤 正 幸	3.94	篠 永 栄	8.70	遠 藤 正 幸	90.52
8	町 田 芳 照	3.94	上ヶ島 利 春	8.69	中 林 忠 雄	90.41
9	筒 井 良 秋	3.93	坂 口 弘	8.69	吉 田 正 行	90.39
10	中 林 忠 雄	3.93	富 沢 保 男	8.68	小 谷 盛 一	90.30
	小 針 和 也	3.93	久 我 良 夫	8.68		
			遠 藤 正 幸	8.68		
平均		3.70		8.52		86.62
最低		3.38		8.14		82.37

## 昭和62年1月乳成分乳代単価ベスト10位

順位	脂 肪 率	%	無脂固形分率	%	乳 代 単 価	円
1	大 木 敏 夫	4.48	篠 永 栄	8.90	大 木 敏 夫	92.20
2	町 田 芳 照	4.36	峰 松 秀 樹	8.89	町 田 芳 照	90.99
3	三 輪 貞 夫	4.28	下河原 政 市	8.85	三 輪 貞 夫	90.51
4	本 田 萌	4.26	熊 谷 正	8.85	板 橋 松 寿	89.86
5	板 橋 松 寿	4.20	佐 藤 一 広	8.81	本 田 萌	89.28
6	五十嵐 輝 夫	4.18	久 我 良 夫	8.79	下河原 政 市	89.13
7	小 谷 盛 一	4.14	五十嵐 輝 夫	8.78	小 谷 盛 一	88.11
8	奥 田 勝 佳	4.11	舟 橋 清 高	8.77	青 木 フサ子	89.07
9	小 針 和 也	4.11	鈴 木 修	8.76	佐 藤 和 男	89.03
10	酒 井 清 志	4.09	上ヶ島 利 春	8.76	熊 谷 正	88.72
	大 西 英 明	4.09				
	青 木 フサ子	4.09				
平均		3.79		8.51		85.27
最低		3.39		8.06		80.62

4%以上 34戸

8.70%以上 15戸



### 昭和61年度出荷乳量実績表

中標津町農業協同組合

(61.4.1~62.2.28)

	出荷乳量		前年比(%)	
	60年	61年		
4月	4,518,100.0 <sup>kg</sup>	5,090,083.3 <sup>kg</sup>	112.7	
5月	5,211,780.0	5,658,333.0	108.6	
6月	5,967,650.0	6,104,848.7	102.3	
7月	6,244,460.0	6,176,869.5	98.9	
8月	6,160,560.0	6,096,705.9	99.0	
9月	5,807,570.0	5,692,194.7	98.7	
累計	33,910,120.0	34,819,035.1	102.7	
10月	5,601,570.0	5,517,240.1	98.5	
11月	4,977,910.0	4,785,811.7	96.1	
12月	4,867,058.2	4,822,590.7	99.1	
累計	49,356,658.2	49,944,677.6	101.2	
1月	4,811,726.7	4,697,356.9	97.6	
2月	上旬	1,522,121.2	1,479,921.7	97.2
	中旬	1,519,187.3	1,457,853.8	96.0
	下旬	1,221,311.5	1,159,187.4	94.9
月計	4,262,620.0	4,096,962.9	96.1	
累計	58,431,004.9	58,738,977.4	100.5	

※生乳の計画的な生産を図ろう！  
62年3月分乳量4,501kg

#### ●材料(6人分)

- 雪印スキムミルク……………40g
- 水……………2カップ
- 片栗粉……………110g
- きな粉……………適量
- 塩……………適量
- 砂糖……………適量
- スキムミルク液の代わりに牛乳を使う場合
- 雪印牛乳……………2カップ

栄養価	エネルギー Kcal	蛋白質g	カルシウム mg	ビタミンB <sub>1</sub> mg
1人当り	144	4.3	87	0.10

## 農協婦人部 独自の牛乳料理で消費拡大図る

生乳計画生産、牛乳消費の伸び悩みと厳しい酪農情勢の中、中標津町農協婦人部では牛乳消費拡大事業として、去る二月十六日農協ストアアの店頭を利用し消費者とのタイアップを図った。『写真』

婦人部が作成した「クッキングブック、白いメニュー」の配付、牛乳・乳製品を使った料理の試食会とともに、牛乳は本当にすばらしい食品だ

という事を消費者にPRした。当日はクッキングブックからミルクファイバーライス、ミルクくずもち、ポテトピザを消費者に紹介した。

消費者の反応は、「おいしい」「さっそく家で作るわ」となかな叫好評でした。中でも好評だったのはミルクくずもち。これは牛乳の澱粉かききな粉をつけて食べるので、当日はきな粉の売れ行きが良



かったとの事でした。部員達は昼食も取らずに頑張ったかいたったと成功を喜んでいました。

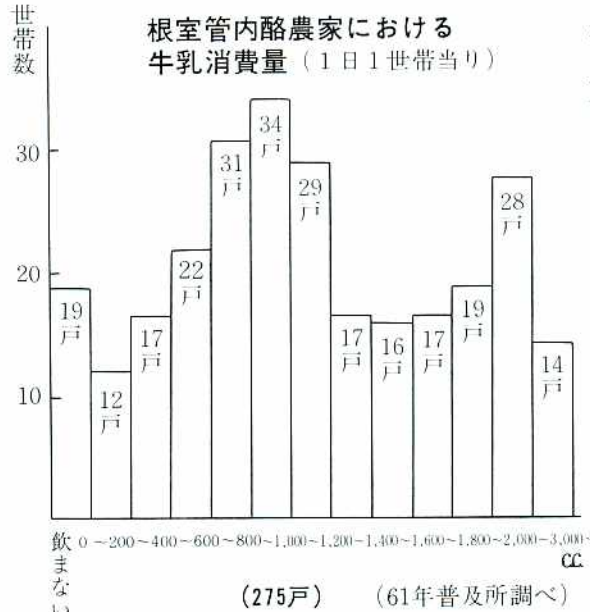
### ミルクくずもち

#### ●作り方

- (1) 厚手鍋に水を入れ、スキムミルクを溶かし、片栗粉も入れかきまぜながら強火にかけ、固まってきたら手早く良く練り、火からおろしてからもなめらかになるまで良く練ります。
- (2) 熱いうちに水をはったバットに流し入れ、水でぬらした手で平らにのばし厚さを1.5~2cmくらいまでにして、あら熱がとれるまで何度か水をとりかえます。
- (3) さめたら一口大に切り、きな粉をまぶし器に盛ります。

☞ 長時間きな粉をつけておくと表面が水っぽくなるので、食べる直前にきな粉をつけるとよいでしょう。

根室管内酪農家における牛乳消費量 (1日1世帯当り)



一昨年の道民一人一日あたりの牛乳飲用量は九十九ccで、この量は全国都道府県の中では十一番目に位置するものでした。  
生産面では酪農王国を誇る北海道ですが、消費面では今一歩といったところです。また昨年の秋から冬期間にかけて、根室管内酪農家の牛乳自家消費実態を調べたのが、次表のとおりです。

厚生省が望ましい食生活の中で示している牛乳、乳製品の一日当りの摂取量は、成長期の子供(二〇才まで)は四〇〇cc、成人からお年よりまでは二五〇cc、妊産婦は五〇〇cc、授乳婦は六〇〇ccと定めてあります。  
学校給食で子供が飲んでる牛乳の量は二〇〇ccですから、家庭で、あと二〇〇ccの牛乳を飲む必要がある訳です。これらのことを考え合わせる

# カッテージチーズ

◎材料◎

- 牛乳.....カップ2
- 酢.....大さじ1½

◎作り方◎

- 1) 鍋に牛乳を入れ火にかけ、55℃位になったら火を止める。
- 2) 1)をかき混ぜながら酢を加える。しばらくおくと、たん白質と水分に分かれる。
- 3) 2)をぬれ布巾をしいたこし器にあげ、好みの固さに絞る。(酸味が強いときは、布巾のまま水のなかで軽くもみ洗いをする)



※温度が高すぎるとボソボソになる  
(利用法) オムレツ、たまご焼き、チーズケーキ、サンドイッチ、クレープ、サラダなど

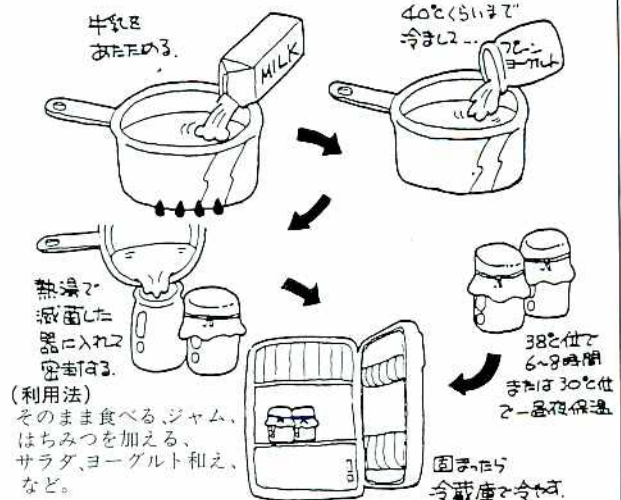
# ヨーグルト

◎材料(4人分)◎

- 牛乳.....カップ2
- プレーンヨーグルト.....50g

◎作り方◎

- 1) 鍋に牛乳を入れ、中火にかけて沸騰寸前まであたためる。
- 2) 1)を40℃位まで冷まし、プレーンヨーグルトを加える。
- 3) 2)を熱湯で滅菌した器に入れ、密封する。
- 4) 38℃位で6~8時間、また30℃位で一昼夜保温する。
- 5) 固まったら冷蔵庫で冷やす。



(利用法) そのまま食べる、ジャム、はちみつを加える、サラダ、ヨーグルト和え、など。

# 生活講座 52

## たりてますか 牛乳の摂取量

北根室地区農業改良普及所

と一世帯、五、六人の家族で一日に消費する牛乳の量は一、五〇〇〜二、〇〇〇ccとならなければなりません。

各戸により差はありますが酪農家自身も、今少し牛乳を飲み、料理に取り入れられるよう工夫する必要があります。

食事は、その家その家のもち味があり、永年かかって築き上げたものです。「食は三代」ということわざもありますが、一度身についた食習慣は一朝一夕に変わることは難



しいことを意味するものです。

反面良くない食習慣は自分自身はもとより、子供、孫の代まで影響を残すとゆうことにな

永年の伝統の中で培われた米を主体とした日本の食生活には牛乳はなじみずらいといった傾向もありましたが、米に不足するビタミンBやカルシウムを豊富に含んでいるのが牛乳です。

米と牛乳、地域特産物を生かし、良い食習慣をつけるよう、知恵を出し合いましょ。

永年の伝統の中で培われた米を主体とした日本の食生活には牛乳はなじみずらいといった傾向もありましたが、米に不足するビタミンBやカルシウムを豊富に含んでいるのが牛乳です。

# ホワイトソース

◎材料◎ (料理によって濃度を使い分ける)

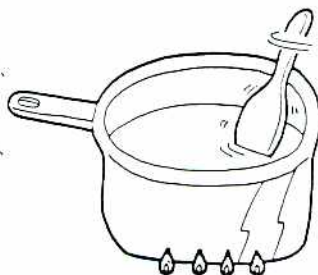
濃度	普通	中濃	濃厚
献立例	スープ	グラタン	コロケ
↑材料↓	バター 大さじ 1	大さじ 1½	大さじ 3
	小麦粉 大さじ 1	大さじ 1½	大さじ 3~4
	牛乳 カップ 1	カップ 1	カップ 1

### ◎作り方◎

- 1) 厚手の鍋にバターを入れ弱火で溶かし、バターがとけたら小麦粉を加える。
  - 2) 焦がさないように木ベラで混ぜながら、サラツとするまで、ゆっくり炒める。
  - 3) 牛乳を少しずつ加え、絶えずかきまぜながら溶き伸ばしていく。(火からおろして加える)
  - 4) クリーム状になるまで、混ぜながら4~5分煮る。
- ※ 牛乳を人肌位にあたためて入れる方法もある。

### (利用法)

カレー、シチュー、グラタン、クリーム煮、クリームコロケ、和え物など、



バターが溶けたら小麦粉を炒める



焦がさないように木ベラで混ぜながらゆっくりと炒める



火からおろして牛乳を少しずつ加える



## 中標津野菜生産組合が発足 規模拡大、18戸参加



昨年自給野菜の生産を目的に依橋の五戸の農家で生れた依橋野菜生産組合が解散し、新たに中標津野菜生産組合(佐々木薫子組合長)と名称をかえ、参加戸数も十八戸と増え二月二十五日発足した。今年の計画では六月から十月まで月二回の割合で朝市を中標津町農協前で行うほか、三月には育苗講習会、四月と十一月には消費者代表婦人との懇談会、このほか青空教室、品質、規格、価格調査等も行う予定である。自給野菜生産から次は高次加工、貯蔵管理なども勉強したいという声もあり、今後の活動も楽しみと期待している。

### ●消費者との連帯を強めましょう●

'87 家の光 臨時増刊号

B5判52ページ 定価100円 62年1月発行

# わたしたちの主張

ここがまちがっている!!

農業・農協批判

最近、農業・農協にたいする批判が相次いでいる。61年度の生産者米価決定後、玉置総務庁長官の農協のあり方にたいする批判をはじめとして、農産物(米)の割高論、農業過保護論、農産物市場開放論などについての提言・批判がマスコミをにぎわしている。

こうした提言・批判の中には、傾聴すべきも

のもあるが、国民の食料・農業に関する考え方を誤った方向に導く論も少なくない。

そこで、臨時増刊号では、こうした重要な問題について、組合員読者に正しい共通の認識をもってもらうために、このたび全国農協中央会が発表した「最近の農業・農協批判に対する見解」を平易に解説する。

#### 内 容

- 批判のあらしのなかでわたしたちがめざす道  
全国農協中央会専務理事 山口 巖
- わたしたちは、こう主張する  
○米問題について○農業保護について○土地問題について○農協批判について
- みんなで築く、わたしたちの農協運動

#### 活用方法

都道府県の農協大会／農協の総会／地区別座談会／農協婦人部・青年部活動や各種研修会のテキスト

全組合員と役職員の必読を!! お申し込みは農協へ

# 2月分細菌・細胞検査成績

氏名	細菌			細胞			氏名	細菌			細胞		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
佐藤忠男							新井範美						
佐藤和男			90	33			片野博				36		
塩田専治							第二俣落地区						
五十嵐輝夫							西村和之				78		
田中本繁				45	57	81	西垣洋	220			72	51	36
安達和永			140				保科清美	120			36	45	33
志賀詔一							松岡晴	390					
志賀正治							田代昭一		260		36	130	45
篠永栄							井口則一						
俣落地区							安江孝男					36	33
原栄一							鈕持藤口					48	60
大木敏夫	84			33			青山松						39
小林金司							峰秀幸						33
板橋寿昇					36	36	沖一美						
岩井一好	250						片岡宅次				81	110	84
服部幸一				33			彈正正				36		
遠藤幸一				36		42	国光昭				69	45	
遠藤正幸				39			佐伯直						51
高橋文夫				36			佐伯雅						
松村晴由	78				93	66	来柄寛						36
小山村正							川村清				54		
菅原弘志	110	39	66	42			加藤原蝶						
上村重光		63		110	48	36	星野七司					42	
上村方通						36	滝本広				42	69	36
上村正雄				51	45		滝平義明						
藤原信雄							内山栄作						
遠藤照一		87		33	33		八木明治	42			96	99	60
阿部稔春				39	36		中浦健雄		69		45	39	54
上ヶ島利春				60			町田芳照						
山崎民藏							房川喜清					33	36
藤田清一		87	54				宮脇正保						
藤田誠幸	78			36	45	54	富谷茂大	48			33		48
釘持幸男				51	39		谷村三郎	140	120	75	72	57	
遠藤与畏				36	36		武井弘美					62	33
宮田実孝				36	57	120	藤井一仁					36	36
鷺見孝愈				60	36		北村匡					42	36
真部利秋				63			杉田義一						
渡辺清信	78			33			田島康	250					39
小出清雄							佐藤幸				45		
相沢直行				42	36		松野盛						
太田直盛					45		飯野国	150			39		
小谷盛政					54		横田日吉						
秋山雄勉				39			竹柳田喜						39
広瀬清美						45	柳青木						39
半沢良夫	36	78		51		72	青木好一						
笠原淳志							横田好一	100	310				
武田淳志				33	39	33							
後木意榮				33	48	63							
久保栄				51	36								

※30万以下は空欄。31万以上は実数。∞は無量大です。

昭和62年3月10日

# 胞検査成績

※30万以下は空欄。31万以上は実数。∞は無限大です。

氏名	細菌			細胞			氏名	細菌			細胞		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
中本要				42		69	加茂正毅						
半沢利平		42				36	佐々木政行					36	48
国見一実	63						三友盛行						
斉藤哲雄	63	63	160	100	100	69	高島真作				39		33
斉藤栄七	42			51		54	福島信一						
伊藤秀子				150	60	69	古田起雄					42	
千葉清正							本田萌夫					69	39
村井直行						45	中村敏夫						
山崎隆							中野俊夫						
後藤信夫		54		36	28		多田俊夫	48				69	33
斉須清志				51	48	42	小岩正一						
今井靖清							伏見哲弘	45					
山田昭男				60		69							
房川和洋							武佐地区						
井上芳行						36	丹羽孝一					60	
笠井剛							丹羽賢一						
赤堀岩男		87		33			中司哲雄						
鈴木敏夫				36	45	54	上原徳保						45
開陽牧場	280						工藤正儀					33	25
							舟橋清高					45	39
							酒井清志	87				51	51
							目黒雅隆					42	
				72		60	工藤重美						
名越優晴							児玉光彦						51
乾雅洋							坂口慶弘						60
伊東信一							白井精一						
大山雄二				36	39	33	川上隆					33	54
北川栄治							長谷川寿夫						
水本正二					75	39	花尻武夫			110		51	25
水本みどり					54		奥村協一					45	39
山本清雄							奥村秀貴	84				51	39
榎田英昭	130			33	36	36	高橋昌信						
佐々木昭雄					36		中塚秀夫	110	140			60	
野口史朗							藤原勝一					69	70
太田功郎				33			林文雄			75			
岡次郎					57	48	佐藤敏昭					130	63
金子安有							佐藤一広					66	39
高野国雄							清原賢一			42			
中林忠雄					33		湯山稔					63	
工藤隆弘						39	門馬正文						
赤波江清夫				51			中石文夫			110		81	84
沢口俊雄					42	39	西井武	390				54	33
桜井健雄	130		140	42	36	39	西井信一			45			
大西一郎							土井上信						
大西英明			69				土井上晴						
福島昭憲					45		小沼悟				190		
下川原政市				63			小沼正信	150					
三輪貞夫						33	山本雪信				96		
西山宏				42			真野光章	240				66	
佐々木邦夫				36		33	寺島享					33	
日下一芳							佐藤憲治					36	
赤波江一彦				42		42							

細菌検査の結果表示について、従来まではランクで表示していましたが、実数で示す事になりました。  
細菌数200万以上400万迄は5円、400万以上は50円のペナルティが課せられます。



# 2月分細菌・細

氏名	細菌			細胞			氏名	細菌			細胞		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
当幌地区							石崎多門						
飯島光五郎							林仁一郎				57	45	57
飯島清市							高藤祐					39	
奥田勝佳							連田弘	51			84	57	45
奥田建雄				45	78	42	永谷雄幸			45		33	
中山進一							長繩弘						
阿部木俊		320					麻郷地忠勝						
鈴木祥幹							小針和也	39	25	190	36	120	39
西垣丈夫							小花川秀				33		33
小原治					63	42	古沢翠			39			48
吉田正行							花川稔						
竹村満夫				51		39	今井照男						
高橋常富			66	45	66	42	岡部善実					33	
筒井良秋							渡辺善行				39	36	57
室井祐二							古瀬豊				69	39	
安田一男	99	160					藤本久夫				81	110	100
山田正				48			小川清嘉	84	45	48		36	
松田吉正				39	36		佐藤道末				33		
菊地良三				45	33		佐藤美				25	51	48
遠田要				45		39	佐藤永雄			60			
長正路清							佐藤束				33		
大野富夫				48			白築政博						
吉成務				33	42	48	望月幸男						
福村守成							武田勇				84	39	
遠藤弘				42	33		高橋敏夫					42	
中標津地区							高熊倉彦吉						
綏坂欣一						39	小林茂雄						
綏坂恭民							阿部正三						36
吉川晴久							佐藤						36
滝場慎二						39	開陽地区						
久保慶一郎							土井上昭男						
久我良夫				36			山田輝男						
正城純一							吾妻紀巳					36	
荒昭一							桜井寿夫	150	250	100	36	54	57
桜井幸一							高橋勝					42	
佐々木繁雄							中本モ					33	
佐藤信義							丸田良夫				39	63	36
三森章司							鈴木修					45	33
下山幸一							高橋一男				110	87	48
長瀨貞義							高平幸夫	54	130			36	

質のよいミルクを  
 つくるために  
 これだけは  
 守りましょう。

### [6つのルール]

- 手と乳房を清潔にすること
- 搾乳装置を正しく選び正しく使うこと
- ミルクの適切な冷却と貯蔵
- 搾乳が終るたびに洗浄
- ライナーとミルクチューブの定期交換
- ミルクシステムの定期点検

# 間違いはがし



この絵の中には、いくつ間違いがあるでしょうか。間違いを見つけて、その数をハガキに書いて送って下さい。

### 〔応募規定〕

- ①官製ハガキに答えを書いて送って下さい。
- ②あなたの氏名・住所・年齢を書いて下さい。
- ③対象者―小・中学生
- ④宛先―中標津町東七条南二丁目 中標津町農協組織広

### 報係

⑤締切日―三月二十日まで  
 ※正解者には当り賞、応募され、残念だった方には参加賞を差し上げます。なお、賞品は農協へ受け取りに来て下さい。



### <1月号の間違い箇所>



※発表は、五月号紙面で行います。  
 (一月号の当選者)  
 一月号の正解は「三つ」  
 (左の図の○印)でした。応募者数二百名で正解者はなし。

## 2月の組合日誌

- 3日 馬鈴しょ栽培講習会
- 6日 第4回営農委員会
- 9日 第11回理事会
- 12日 乳用雄仔牛哺育々成組合総会
- 16日 第7回農協酪対役員会
- 17~20日 定例自治監査
- 21日 畑作対策役員会
- 23日 てん菜栽培学習会
- 第3回管理購買委員会
- 25日 第12回理事会
- 27日 空港周辺農政協議会

### 表紙写真



今月号の表紙写真は南俣橋地区の中川喜美子さん(三五)です。  
 結婚して十五年目になり、小学六年の女の児を頭に男男女女と四人の子宝に恵まれています。「仕事の合間には挿物も好きですが、さし木のシンズンになると花卉・サボテン等さし木で増やして、花の好きな人に差し上げて喜んでもらえるのが嬉しいです。」「農業情勢は難しい時ですが、一日も早く経営と生活の安定を願っています。」「余裕が出たら、草馬があるとな家族ぐるみで出掛けたいですネ」花と動物を愛し健康で明るい若奥さんです。